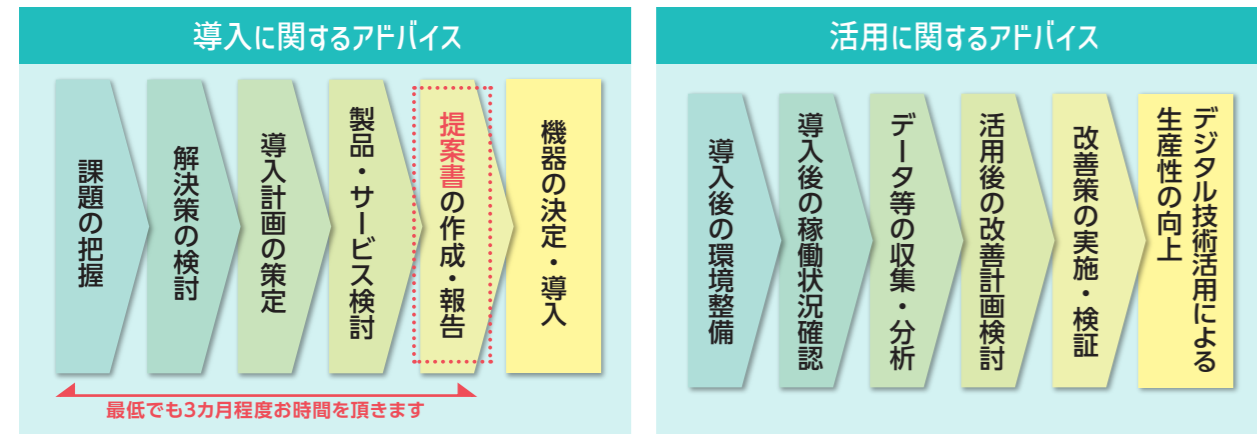


# アドバイザーが作成する「提案書」とは？

- デジタル技術の導入段階、活用段階のいずれかでお渡しする、最大10ページの提案書となります。
- 担当となるデジタル技術アドバイザーが作成し、支援企業様にお渡しします。
- 提案書は、以下をまとめたものになります。  
 (1)経営方針(2)課題・解決策(3)導入計画(4)検討した製品・サービス(5)社内体制 等  
 したがって、一通りの支援が完了していないと作成し、お渡しすることができません。
- 提案書の作成には、最低でも3カ月程度のお時間を頂きます。(下記図のとおり)
- 提案書は、「デジタル技術活用推進助成金」の申請条件となっております。  
 また、「躍進的な事業展開のための設備投資支援」の申請においては、区分「② DX推進」で加点になります。
- 「デジタル技術活用推進助成金」または「躍進的な事業展開のための設備投資支援」の申請を予定している企業様は、提案書の作成に要する時間に余裕をもって、デジタル技術アドバイザーに提案書の作成依頼を行ってください。



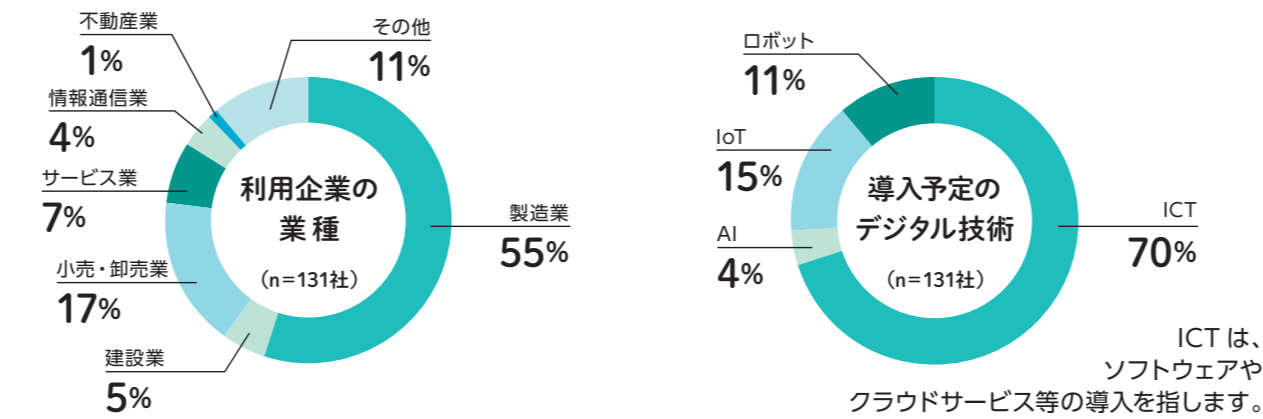
「現地調査」および「デジタル技術アドバイザーによるトータル支援」

## 事業ご利用の際のチェックポイント

本支援のお申込みに際して、以下の事項についてご確認ください。すべてにチェックが入ればお申込み可能です。

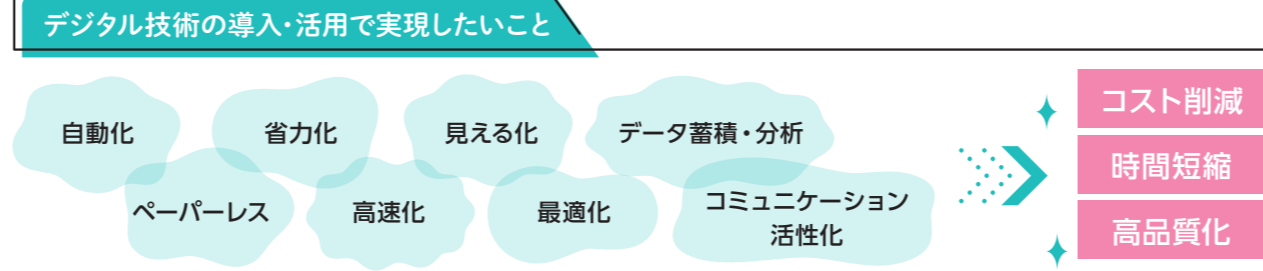
- ✓ 本支援の利用可否に関しては会社の決定に従います
- ✓ 東京都内に主たる事業所をおく中小企業者等に該当します  
(当事業ポータルサイト内「募集内容」の「1. 対象者」を参照)
- ✓ 専門家の派遣場所は1都6県に限定されることを了解しました  
(当事業ポータルサイト内「募集内容」の「5. 派遣場所」を参照)
- ✓ みなし大企業ではありません
- ✓ 本支援の利用に際して、公社及びアドバイザーと秘密保持契約を取り交わすことがないことを了解しました。\*アドバイザーは公社との委嘱契約において、秘密保持の義務を負っています
- ✓ 本支援は当社の意思決定に対する助言を行うものであり、アドバイザーが業務の代行をするものではないこと、最終判断・行動等は当社の責任となることを了解しました
- ✓ 本支援を利用することについて、当社の代表者若しくは担当役員は了解しています
- ✓ 本支援を利用する場合、別途申込手続きが必要であること、決算書3期分の情報提供が必要であることを了解しました

# このような企業が利用しています



主な支援分野 全社的・経営的視点から、デジタル化に取り組む分野を決定します。

生産・サービスの提供	営業・顧客管理	保守・メンテナンス	調達・在庫
<ul style="list-style-type: none"> <li>生産・工程管理 (製造指示)</li> <li>製造履歴 (日報)</li> <li>顧客対応・受付</li> <li>サービスのデジタル化・システム化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>顧客管理</li> <li>案件管理</li> <li>見積作成</li> <li>受注</li> <li>販売管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アフターサポート</li> <li>遠隔監視・故障予知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入在庫管理</li> <li>製品・商品管理</li> <li>設備機器管理</li> <li>物流管理</li> </ul>
<b>バックオフィス</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>勤怠</li> <li>給与</li> <li>人事</li> <li>経理</li> <li>財務</li> <li>ワークフロー</li> </ul>			



**利用者の声**

- 「原価計算」に手間と労力がかかっている現実を踏まえて、ITを用いた解決手段を数多くアドバイスいただいた。(製造業)
- 受注から生産ラインへの伝達、納品までの流れ全体を俯瞰したアドバイスをいただいた。(製造業)
- 顧客管理システムの導入にあたり、漠然としたイメージはあったが、自力で具体化できなかったのが、専門家による助言が役に立った。(サービス業)

**お問い合わせ**

公益財団法人 **東京都中小企業振興公社**  
 Tokyo Metropolitan Small and Medium Enterprise Support Center

総合支援部 総合支援課 **デジタル技術活用推進担当**

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-9  
 東京都産業労働局秋葉原庁舎  
**TEL: 03-3251-7917**

生産性向上のためのデジタル技術活用推進事業  
 ポータルサイト  
 URL <https://iot-robot.jp/>

# ICT、IoT、AI、ロボットなどデジタル技術の導入及び活用をサポートする事業です

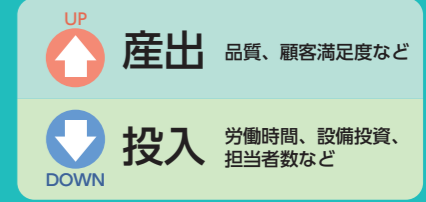
## 生産性向上のためのデジタル技術活用推進事業

支援はすべて無料です



### 「生産性向上」とは

- 経営は、ヒト・モノ・カネを使って売上や顧客満足度の向上をめざし、達成し続けることが目標となります。
- 生産性とは、ヒト・モノ・カネといった経営資源をどれだけ使っているか=「投入」に対するお客さまの数や顧客満足度がどれくらいか=「産出」の割合です。
- 生産性向上とは、「産出」につながらない「投入」を減らしたり(効率化への取組)、産出を増やすことのできる活動(付加価値向上への取組)を意味します。



**対象者** 都内に事業所を置く中小企業者等で、大企業が実質的に経営に参画していないもの。  
 ※詳しくはお問い合わせください。





# 生産性向上のために、ICT、IoT、AI、ロボット等のデジタル技術の導入・活用を図る都内中小企業を多様なメニューで支援します！

## 活用できる助成金

[①助成金活用にあたっての注意事項]  
必ず、申請者自ら、最新の募集要項の内容を確認するとともに、疑問点等については助成金の担当部署までお問合せください。

### デジタル技術活用推進助成金

デジタル技術の導入・活用に必要な費用の一部を助成します

助成限度額	300万円（下限額 30万円）
助成率	小規模：2/3 以内 その他：1/2 以内
募集	年 2 回
その他	当事業の「デジタル技術アドバイザーによるトータル支援」を利用し、アドバイザーによる提案書に基づく申請をすることが支援の条件となります。 ※助成金を利用する際には審査があります。採択をお約束するものではありません。
問い合わせ先	東京都中小企業振興公社 総合支援課 デジタル技術活用推進担当 ☎ 03-3251-7917 ☎ 東京都千代田区神田佐久間町 1-9

### 躍進的な事業推進のための設備投資支援事業

① 更なる発展に向けた競争力の強化、② DX（デジタルトランスフォーメーション）推進、③ イノベーションの推進、④ 後継者による新たな取組、に必要となる機械設備を新たに導入するための経費の一部を助成します

助成限度額	1億円 【小規模】3,000万円（下限額 100万円）
助成率	1/2 以内または 2/3 以内
募集	年 2 回
その他	申請事業区分「② DX 推進」において、当事業の「デジタル技術アドバイザーによるトータル支援」を利用し、アドバイザーによる提案書に基づく申請をした場合には、 <b>審査において加点されます。</b> ※助成金を利用する際には審査があります。採択をお約束するものではありません。
問い合わせ先	東京都中小企業振興公社 設備支援課 ☎ 03-3251-7884 ☎ 東京都千代田区神田佐久間町 1-9

## セミナー・デジタル人材育成講座

コチラから最新情報を取得できます。



2021年度の主なテーマは以下の通りです。

セミナー [2時間・年10回]	人材育成講座 [半日×4日間の講座]
<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTの活用による業務の見える化とロボット導入の実際</li> <li>AI活用で検査工程に要する時間を40%削減</li> <li>バックオフィス（社内管理）業務の生産性を上げる！</li> <li>IoT導入で生産管理情報の一元化・可視化を実現</li> <li>デジタル人材の育成と採用に困っていませんか？</li> <li>使えるサービスロボットとカスタマイズ</li> <li>産業用ロボットの活用による工場自動化のすすめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動化・ロボット化の基本から実践力を習得する</li> <li>ゼロからIoTシステムを構築して学んでみよう！</li> <li>完全無料でRPAをつくってみよう！</li> <li>中小企業がシステム導入・リプレイスを考えるための基本</li> <li>自社に合うAI製品を探したい！</li> </ul>

2021年度実績より抜粋

## GOAL

デジタル技術の導入・活用により生産性が向上！

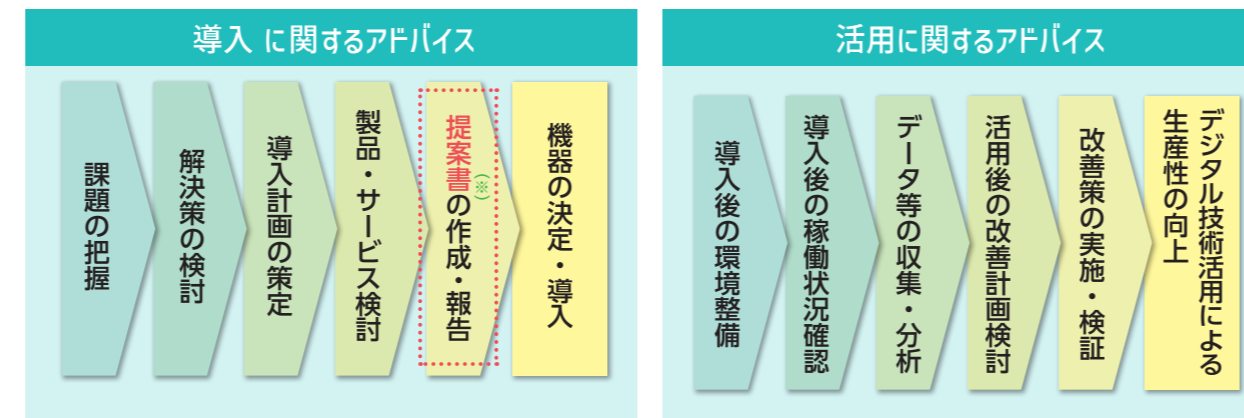
### 導入・活用

#### デジタル技術アドバイザーによるトータル支援

※現地調査を受けていることが支援の条件となります。

- 各社の課題に合わせた最適なアドバイザーを選任します。導入計画策定から導入後までサポートします  
**初年度最大10回、2年目最大8回まで（最大2年間）訪問**
- 支援対象は、ICT（ソフトウェア・クラウドサービス）及び先端技術（IoT・AI・ロボット）の導入から活用までと多岐にわたります

#### 支援例



※提案書については、折込ページをご覧ください。

### 必要に応じて選択できます

#### デジタル人材育成講座

デジタル技術導入や活用に向けた社内人材育成のための講座や研究会を実施します

詳しくは右ページをご覧ください。

#### デジタル技術活用推進助成金

助成金

※トータル支援を利用し、デジタル技術アドバイザーによる提案書に基づく申請をすることが支援の条件となります。

デジタル技術の導入・活用に必要な費用の一部を助成します

助成限度額 300万円（下限額 30万円）

助成率 2/3 以内（小規模）  
1/2 以内（その他）

詳しくは右ページをご覧ください。

#### 躍進的な事業推進のための設備投資支援

助成金

助成限度額 1億円 【小規模】3,000万円（下限額 100万円）

助成率 1/2 以内または 2/3 以内

詳しくは右ページをご覧ください。

### 情報収集

#### 窓口相談/Web相談

来社・Web等において無料で相談をお受けします

■ICT、IoT・AI相談  
・週5回（月～金）

■ロボット相談  
・週3回（月・水・金）  
・要予約

#### 巡回員によるサポート

経営課題に応じたデジタル技術の導入や活用等に関する情報提供を行います



#### 導入・活用セミナー

デジタル化の目的や導入・活用事例等について紹介するセミナーを開催します  
詳しくは右ページをご覧ください。

#### ポータルサイト

デジタル技術の関連製品やサービス、導入事例等の情報をポータルサイトにて発信しております

### 検討

#### 現地調査

- 専門家が事務所や工場等に現地訪問を行います
- 各社の経営課題に応じて、全社的・経営的視点から現状の課題を明確化した上で、支援方針を決定します
- 1社最大2回まで訪問

#### 支援例

- 1) 経営方針・社内体制のヒアリング
- 2) 生産（販売）現場の現状をヒアリング
- 3) 社内管理（バックオフィス）の現状をヒアリング



### 検討

### 検討

### 検討